



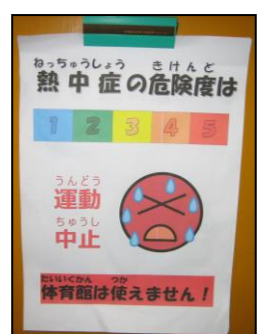
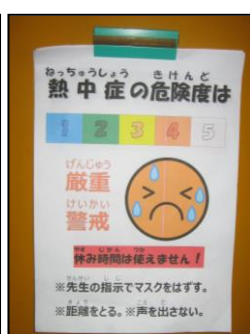
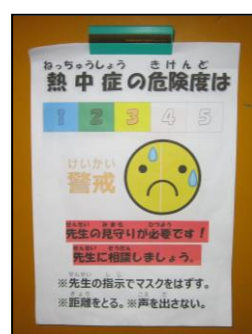
いっしょ

立山町立釜ヶ淵小学校
ひばり級 学級だより
令和3年 7月号

好きこそものの上手なれ

猛暑を迎える季節となりました。Kさんの朝の日課は、体育館入り口を確認することです。熱中症予防対策温湿計の数値から熱中症の危険度が表示されているのです。「今、(体育館の掲示は)注意?(体育館に、熱中症予防対策温湿計を)見てきてもいい?」と、温湿計を見に行きます。

好きなことであるため、毎時間でも表示を見て、気温や体育館での活動制限状態をチェックします。Kさんの好きなものに対する集中力は本当に素晴らしいです。「好きこそものの上手なれ」と、昔からのことわざにあります。本人の「好きなこと」「気になるもの」を増やすことで生活力を身に付けさせたいと考えています。



話は変わりますが、新出漢字を習うたびに国語辞典を引き、調べた言葉を動作で表現したり、マーカーで線引きしたりしています。

ある日、明日の連絡を黒板に「㊦ 5まい」と書いたところ、国語辞典を持ってきて引き始めました。

K 「先生、マイって、これ?(この漢字?)」

担任「それは、毎日とか毎朝のマイですよ。1枚、2枚のマイはこれです。」

K 「線引いていい?」

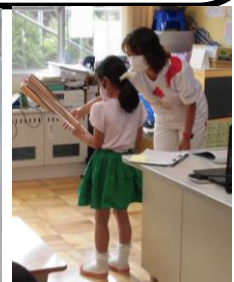
担任「いいですよ」

K 「(ぱらぱらと辞典をめくって)「これって、何?」

担任「オリンピックの種目だね。夏のオリンピックの種目は、陸上競技、水泳、スポーツクライミング...冬はフィギュアスケート、カーリングとかいてあるね。Kさんも学校でボルダリングをやっているね」



先日、オリンピックのトーチリレーに参加された校区にお住いの坂下さんの話を伺いました。実際にトーチを触らせてもらったことが印象に残っているのでしょう。パラパラとめくった国語辞典に「オリンピック」の文字やイラストがあり、気になったようでした。学習したことを生活の中で生かそうとするKさんの姿が見られます。実際にオリンピックを視聴したら、Kさんの言葉と世界がまた広がるのではないだろうか、とわくわくした瞬間でした。



坂下さんのトーチ運びました!

あおぞら級と 朝の会

ひばり級にお客がきました。キャベツの葉についた、黄色の卵。さて、いったい何の卵でしょう？
解剖顕微鏡でじっくり卵を観察し、あおぞら級と一緒に話すスピーチタイムで話題にしました。

6年T「これ、モンシロチョウの卵じゃない？」

担任「本当にモンシロチョウの卵なの？生まれる前にわかるの？」

6年T「うーん、多分。」

これ、幼虫のおなかからガの幼虫がいっぱい出てくることあるよね」

担任「そうなの？幼虫のときに、ガが卵を産み付けに来ると思っていたから、ガの幼虫は出てこないと思っていたなあ」

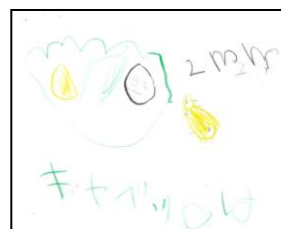
6年T「いや、卵のうちに、ガが産みつけてしまうんだよ」

担任「へえ～！そうなんだ！？」

6年A「これさ、モンシロチョウの幼虫がいっぱい増えて学校のあちこちにちらばったら、先生のせいだからね」

担任「へえ！？1個の卵から、たくさん幼虫が産まれるんだね？楽しみだなあ！」

6年T「幼虫ってさ、1個の卵から1匹しか幼虫は産まれないと思うよ」



卵と幼虫の絵

6年T「昨日、ヤモリを見つけました。ヤモリの捕食を見たかったです。」

K 「ほしよくて何？」

6年T「捕食って・・・餌を食べること。」

K先生「そのヤモリの餌って、T君がとってあげて、食べさせようとしたのかい？」

6年T「ううん」

K先生「気になるなあ。みんなで見てみよう」

ヤモリが捕食する様子を動画で視聴した後、教室にもどりました。

K 「ヤモリって、どうやって(餌を)食べる？」

担任「すごかったね！ゆっくりと虫に近づいて、さっと体を動かして食べてたね」

K 「こうやって？」

と、イモリそっくりの動きで素早く動く K さん！あおぞら級との朝の会では言葉数は少ないものの、興味のあることをよく見聞きしていることが分かります。世界を広げ、言葉を吸収しようとする K さんはすごいですね。



身体を きたえよう！

いろいろな運動をすることで全身の運動機能向上を目指しています。ぜひ、ご家庭でも K さんに見せてもらってください。

体が大きくなった K さんの技は、見応えがありますよ。



上体起こし



逆立ち